

②米代川二ツ井地区河川防災ステーション整備事業

受賞機関 国土交通省 東北地方整備局
能代河川国道事務所

キーワード 道の駅と防災ステーションの一体整備、地域交流の場

全建賞審査委員会の評価ポイント

「重点道の駅ふたつ」と「二ツ井地区防災ステーション」を一体的に整備するとともに、二ツ井きみまち地区かわまちづくり事業において、米代川の水辺に散策路や親水護岸等を整備した事業。地域住民が参画してまとめた「川の駅エリアの整備計画（案）」に基づき方針を策定し、防災ステーションが平常時にも活用できるような道の駅、かわまちづくりと連携し、にぎわい創出に貢献している点が評価された。

1. はじめに

2018年（平成30年）7月に米代川で初となる「二ツ井地区河川防災ステーション」が完成した。「二ツ井地区河川防災ステーション」は、国道7号と米代川に挟まれた場所に、重点道の駅「ふたつ」及び「二ツ井きみまち地区かわまちづくり」と隣接して位置することから、災害時のみならず平常時においても相互の利活用が可能となる一体的な整備を実施した。



重点道の駅「ふたつ」「米代川二ツ井地区河川防災ステーション」「二ツ井きみまち地区かわまちづくり」が隣接する立地
米代川二ツ井地区河川防災ステーション

2. 事業の概要

米代川では、戦後最大規模の1972年（昭和47年）7月洪水をはじめ、近年においても2007年（平成19年）9月、2013年（平成25年）8月など洪水による浸水被害が発生していることから、緊急復旧用資材の備蓄や水防活動拠点の確保が急務となっていた。そこで、堤防決壊等の重大災害に備え、緊急復旧用資材の備蓄、資材を運搬するための建設機械の活動場所、車両格納庫、水防工法に用いる土のう等が製作可能な水防活動スペース、防災ヘリコプターの離着陸可能なヘリポートを整備し、

「二ツ井地区河川防災ステーション」を秋田県北地域の総合防災拠点として利活用する。また、平常時には二ツ井地域の様々な魅力を発信する場所、地域と連携した交流ができる場所として、重点道の駅「ふたつ」を拠点に米代川と連続する水辺空間を形成し、防災ステーションからの眺望を活かした空間整備を行った。

3. 事業の成果

重点道の駅「ふたつ」の来場者数は、2018年（平成30年）7月のオープンからほぼ1年の2019年（令和元年）7月6日に100万人を突破した。

また、「二ツ井地区河川防災ステーション」多目的広場において、グルメイベント「うまいもの大集合in二ツ井」が2019年（平成31年）4月27日（土）・28日（日）の2日間開催された。イベントは通算15回目の開催となり、多目的広場を会場とするのは今回が初で、過去最多の11,843人が来場した。

さらに、米代川におけるカヌーイベントの2018年度実績は参加者が286人で前年度比117人（69%）増であった。

いずれも、重点道の駅「ふたつ」が移転オープンしたことにより、注目度が上がったと考えられる。



NPO 法人二ツ井町観光協会資料
米代川カヌーイベント参加者数

4. おわりに

今後、日本海沿岸東北自動車道の延伸により、重点道の駅「ふたつ」は「小繋インターチェンジ」（仮称）と直結する予定である。高速ネットワークの直結により、さらに賑わいのある水辺空間となることを期待する。

賛助会員 大森建設(株)、川崎地質(株)、(株)建設技術研究所、秀栄建設(株)